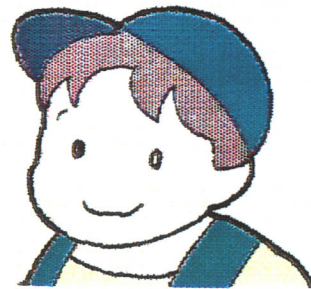


## スーパーではたらく人

33

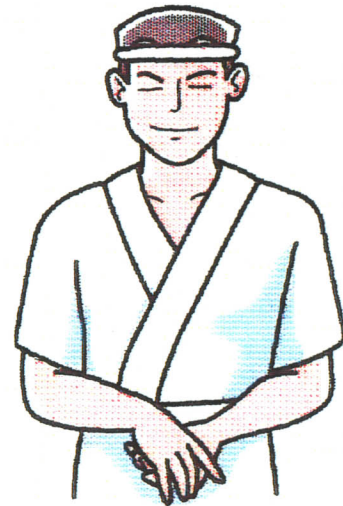
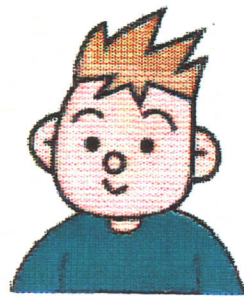
### 商品をかんだりする人の話

品物をラップしたり、ならべたりしています。やさいは、氷水に通していたみにくくするなどの工夫をしています。肉や魚などの生ものは、その日のうちに売られるためにね引きをすることもあります。



### 調理する人の話

あげものやさしみを作っています。きせつのやさいをそえるなど、お客さんによろこばれるようなもりつけを工夫しています。また、えいせいにはとても気をつけています。月に一度は、えいせいの先生のしどうを受けています。



### レジをうつ人の話

ねだんをまちがえないように、読み上げながらレジをうちます。夕方のこむ時間は、お客さんをまたせないように、みんなで協力しています。



## たくさんのお客さん

34

### お客さんの話

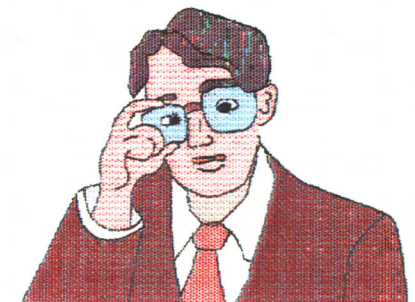
スーパーマーケットは品物の数が多いので、ほしいものはほとんどそろいます。大きなちゅう車場があるので、自動車で買いものに来るのにもべんりです。



大きなちゅう車場

### 店長さんの話

この店では、およそ30人の人がはたらいています。いつも、お客さんによろこばれる店であるようどりよくしています。とくに、お客さんへのたいおうの仕方には気をくばっています。



お客さんは1日におよそ1200人ぐらい来ます。お客さんが多く来る時間は午後4時30分から午後6時の間です。

たくさんのお客さんに買いものをしてもらうためには、せんでんが大切です。新聞のちらしは、棚倉町から矢祭町まで3万5千枚もくばります。